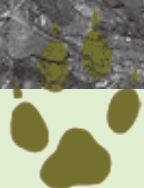


# 中型哺乳類対策の手引き



アナグマ



タヌキ



アライグマ



ウサギ

## 中型哺乳類の被害

近年、アライグマ、アナグマ、タヌキなどの中型哺乳類の増加や行動範囲の拡がりにより、園芸作物を中心とした被害が急速に拡大しています。被害はイチゴ・ブドウなどの食害、ハウスの破損、田植え直後の苗の引き抜きなど様々です。

## 生態

獣種によって差はあるものの、一回の出産で3～6頭出産し、雌は生まれてから1年で子供を産むようになります。妊娠率は高く、エサが豊富な地域では爆発的に数が増加します。

## 西松浦地域特有のウサギ害

西松浦地域は山際まで大豆の栽培があるため、ノウサギによる食害が出やすい地域です。

ノウサギによる被害は萌芽期～生育期の葉が固くなる前の時期に起きやすく、地上部を食いつくされてしまいます。

ワイヤーメッシュ柵では防げないため、中型哺乳類と同様の対策が必要です。



## 対応策は？

次の対策1～対策3を総合的に行うことが重要です！  
集落・地域内で取り組む場合は住民みんなの協力が不可欠です！

## 対策 1 エサ場を作らない

無意識のうちにエサとなっている食べ物を無くすることが重要です。収穫残渣や廃棄果実はもちろん、もう誰も収穫していない柿・栗なども良質なエサとなっています。

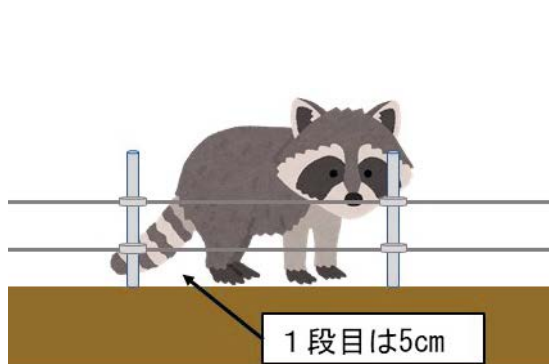
集落内でそのような果樹があれば活用または伐採を検討しましょう。



## 対策 2 侵入防止対策を行う

最も効果がある侵入防止対策は電気牧柵です。以下のポイントに注意して設置しましょう。

- ① 中型哺乳類を対象とする場合、電線の1段目は地際から5cmの高さにする
- ② 果樹での対策は防鳥ネット+電気牧柵を使う
- ③ ウサギ対策はワイヤーメッシュ+電気牧柵を使う  
(電気ネット柵も効果大)
- ④ 電気牧柵設置場所はこまめな草刈りを行う (漏電防止)

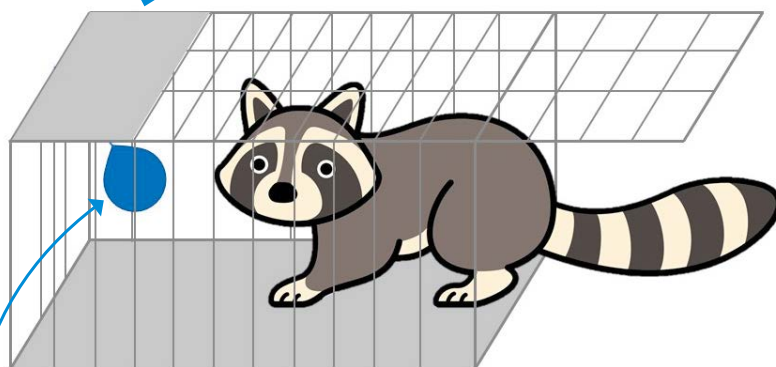


### 対策 3 捕獲によって数を減らす

被害を減らすためには中型哺乳類の数を減らすことも重要です。  
効果的なはこ罠の使い方を心がけましょう。

#### 効果的なはこ罠の仕掛け方（吊り餌式の場合）

檻の外からエサを取られないように  
透明なビニール等の覆いをつける



生ゴミ用のネットの中にエサを入れ、  
弛みがないようにしっかり括り付ける

オススメのエサ：キャラメル味のコーン菓子（対アライグマ）  
（農地の防護対策をした上で）被害があった作物や地域に  
あるエサ

#### Q. 中型哺乳類の捕獲に狩猟免許は必要なの？

A. 農業者であれば自身の農地内に限り、狩猟免許  
がなくても捕獲が可能です。

※市町の有害捕獲許可は必要です。

お住まいの市町へお問い合わせください。

伊万里市農山漁村整備課 0955 - 23 - 2591

有田町 農林課 0955 - 46 - 5616